

〈リンサン〉×〈苦土〉の相乗効果

熟成

マグホス

マグホス大百科

多木肥料

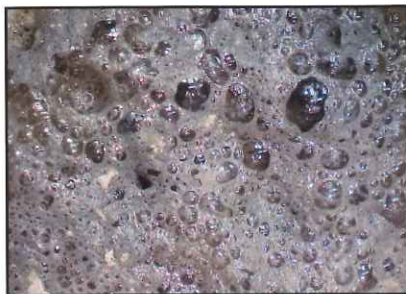
マクホス ^{ぢから}カ を引き出す

製造へのこだわり・・・半世紀にわたる伝統の三段製法

① 酸による分解処理

一
段

- ・リン鉱石
- ・硫酸



リン鉱石を
硫酸によって分解する

② リン酸と苦土による二次反応

二
段

苦土原料の成分

- ・苦 土
- ・ケ イ 酸
- ・微量元素



苦土原料の添加によって
リン酸苦土の形に変化する

③ 熱・酸による熟成

三
段

熟成とは・・・多木独自の熱と酸によるぼかし作用です。

熟成によって、リン酸と苦土および各種微量元素が反応し、
作物に吸収されやすい形に変化します。



60～90℃の高温で
30日間堆積・熟成する

マグホスによる収量・品質 好事例

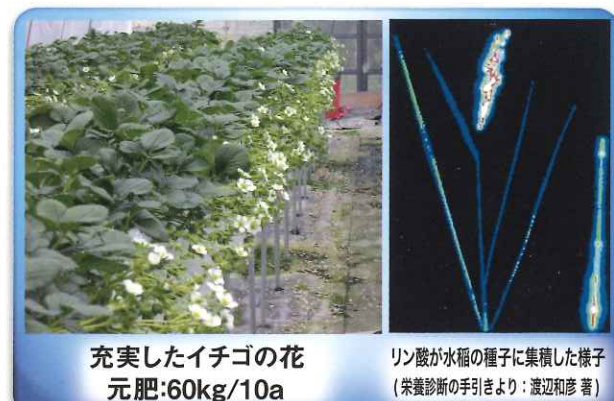
発根促進

- マグホスの施用により、細胞分裂が活発になるため、根量が増加します。



充実した花芽形成

- マグホスの施用で炭素率が向上します。また、各成分が花芽に作用することで充実した花や穂を作ります。特にリン酸は花芽形成に大切な核酸(DNA)の構成成分です。



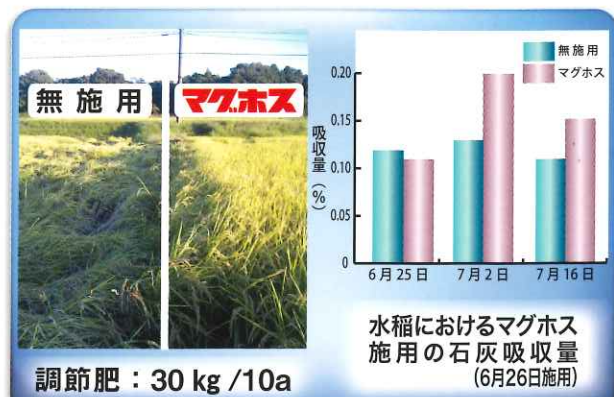
体内チッソの消化促進

- マグホスのリン酸やモリブデンの作用により、体内の硝酸態チッソを消化し、健全な生育を促します。



倒伏防止

- チッソ消化作用によって節間の伸長と葉の徒長を抑え、丈夫な茎葉をつくります。
- マグホスのケイ酸や石灰の働きで、茎や葉を強化し、倒伏に強くなります。



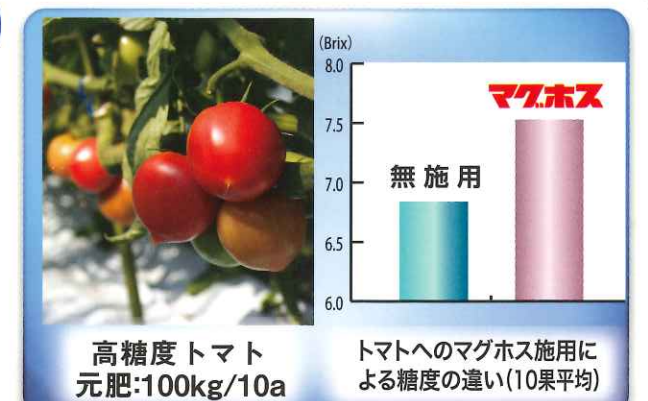
収量増加効果

- マグホスの施用により細胞の分裂や肥大が促進され、1個当たりの重量が増加し、収量が多くなります。



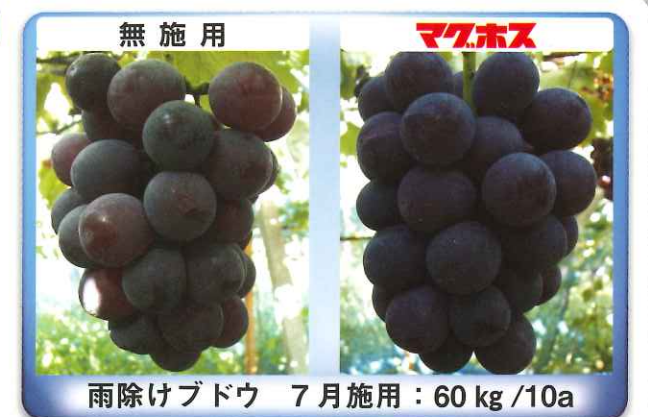
糖度向上

- マグホスを施用すると、リン酸、苦土による光合成の促進や、石灰による水分調節作用によって、果実の糖度が高まります。



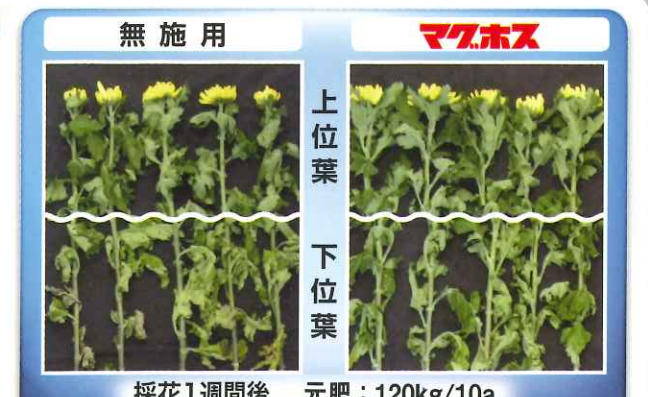
着色促進

- マグホスを施用すると、果実の糖含有量が高まり、着色がよくなります。また、葉が立葉型となり受光体勢や風通しが良くなるため着色が進みます。

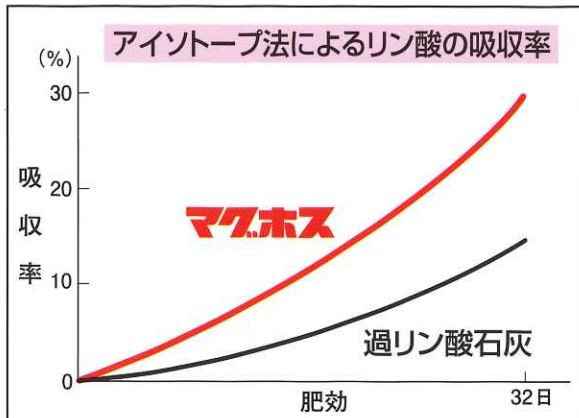


日持ち性向上

- マグホスの石灰は細胞を強化する働きがあります。さらに石灰は、老化を促進するエチレンの発生を防ぎ日持ちが向上します。



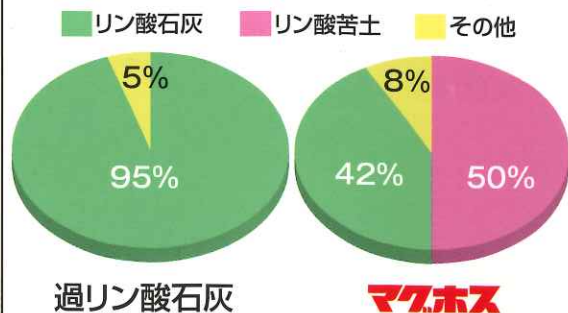
マグホス カとは!



非常に高いリン酸吸収率

マグホスの吸収率は、過リン酸石灰の約2倍
(水稲：施肥32日後)

リン酸成分の形態とその割合



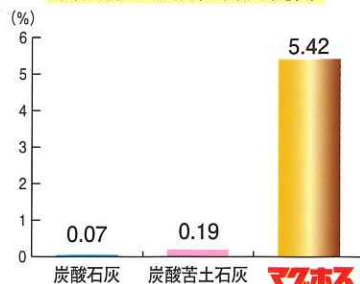
肥効を高める苦土の働き

主成分である リン酸苦土 は、
相乗作用によって吸収が良い。

吸収しやすい石灰

マグホスに含まれるリン酸石灰や硫酸石灰は、水溶性石灰が多く、吸収が優れている。

各資材の水溶性石灰割合



※この水溶性石灰は、各資材を10倍の水で溶かした場合の値です。

リン酸

苦土

石灰

微量元素

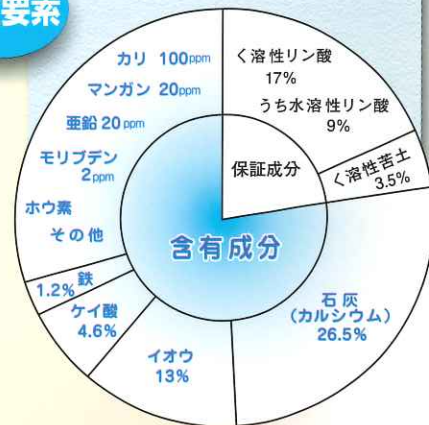
土壌

土壌pHを選ばない肥効

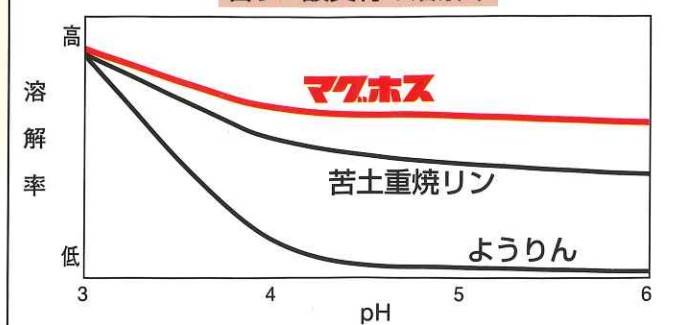
土壌pHに影響されにくく
安定した肥効をしめす。

バランスよい微量元素

多種多様なミネラルを
バランスよく含んでいる。



各リン酸資材の溶解率



各作物への施肥量と施肥時期

水稲

育苗時



活着促進、健苗育成に！

30～40g(箱)

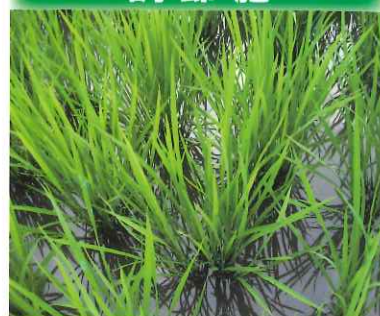
元肥



活着促進、分けつ促進に！

代かき前後 40kg(10a)

調節肥

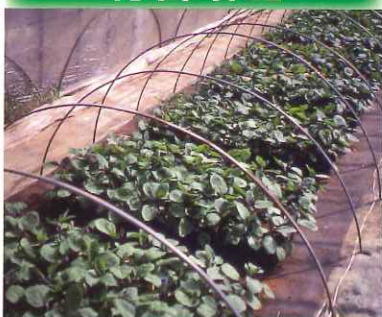


穂づくりへの生育転換に！

葉色が濃い時・・・60～80kg(10a)
葉色が通常時・・・30～40kg(10a)

野菜・花き

育苗培土



活着促進、植え傷みの軽減に！

5～10kg(m³)

元肥(全層施肥・局所施肥)



初期生育の安定、根の充実に！

40～100kg(10a)

追肥(表層施肥・通路施肥)



生育の安定、花芽の安定に！

40～60kg(10a)

果樹・茶樹

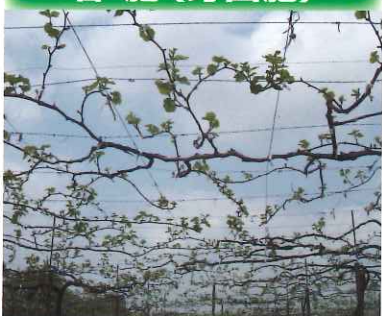
植え付け時



根の活着、発根促進に！

200～300g(本)

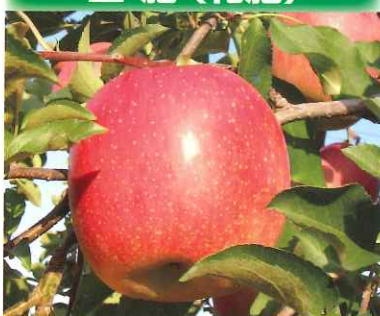
春肥(芽出肥)



開花・結実安定に！根の充実に！

40～60kg(10a)

玉肥(礼肥)



糖度・着色促進に！秋根の促進に！

60～80kg(10a)

取扱い店

多木化学株式会社

〒675-0124 兵庫県加古川市別府町緑町2番地